

令和7年度 部活動 活動結果

春季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運 動 部

陸上競技部

春季総合体育大会結果

男子総合8位 男子フィールド4位

入賞は以下の通り

男子 400m 5 位（3 年 上嶋煌心）

男子 400mH 5 位（2 年 馬場一幸）

男子走高跳 3 位（2 年 平川慶志）

男子棒高跳 5 位（3 年 田中海翔）

男子走幅跳 3 位（2 年 中野瑛太郎）

男子 4×400mR 7 位（馬場一幸 上嶋煌心 平川慶志 園海利）

女子やり投げ 8 位（3 年 串田瑞歩）

6 位までは、近畿大会（6 月 12～15 日 京都・西京極）に出場

講評

3年生にとっては、3年間目標にしてきた大会であり、様々な思いを持って大会に臨んだ。大会直前や大会中の怪我などにより、万全の状態ではない選手もいて、思うような結果が出せない面もあった。リレーは、同タイムでありながら、惜しくも6位入賞を逃すなど、悔しい結果となった。一方、5名の選手が混戦を制して、近畿大会への出場権を獲得した。近畿大会でのさらなる飛躍を期待したい。（顧問より）

バドミントン部

結果

個人戦

ダブルス

・新崎・岡村（1 回戦）2－1 綾羽 （2 回戦）0－2 石山

・森田・鎌田（1 回戦）0－2 草津

・丸岡・中尾（1 回戦）0－2 八幡

・田淵・三ヶ月（1 回戦）0－2（彦根東）

・豊田・片原（1 回戦）0－2（草津）

シングルス

・羽根（1 回戦）2－0 愛知 （2 回戦）0－2 彦根翔西館

・森田（1 回戦）0－2 彦根工業

・関口（1 回戦）0－2 光泉

・丸岡（1 回戦）2－0 愛知高等養護 （2 回戦）0－2 草津東

・田淵（1 回戦）0－2 草津

・三ヶ月（1 回戦）2－0 長浜農業 （2 回戦）不戦勝

（3 回戦）0－2 大津

- ・片原（1 回戦）2－0伊吹 （2 回戦）0－2彦根翔西館
- ・豊田（1 回戦）0－2玉川
- ・的井（1 回戦）0－2草津

団体戦

- ・女子団体戦 1 回戦 石部4－1 守山北 2 回戦 石部0－3 守山
- ・男子団体戦 1 回戦 石部0－5膳所

講評

個人戦、団体戦ともに良いプレーも随所に見られ奮闘したが、なかなか勝利にはつながらなかった。女子団体戦では2回戦で守山高校と対戦し、技量に優れた相手に対して、積極的なプレーができていた。ダブルスで田淵・三ヶ月ペアが1セット取ることができたのが収穫であった。

今後はミスショットを減らし、粘り強く戦うための体力、技術力、メンタルの強化に取り組みたい。（顧問より）

バスケットボール部 男子

結果 1 回戦

石部		幸福関西高校
40	3 — 22 13 — 26 15 — 15 9 — 11	74

講評

3年生にとっては最後の大会であり、みんな気合が入っていた。しかし、緊張があったのか試合序盤から流れを持っていかれ1クォーターで大差をつけられた。そこから立て直せず敗れた。負けはしたが3年生が笑顔でプレイしており、悔いのない大会になったと感じた。（顧問より）

卓球部

結果

男子学校対抗2回戦敗退	玉川高校 3－2 石部高校
男子ダブルス	男子シングルス
大川・安藤組 1回戦敗退	安藤 3回戦敗退
田中・佐々木組 1回戦敗退	大川 2回戦敗退
桑名・竹本組 1回戦敗退	桑名 2回戦敗退
	竹本 2回戦敗退
	田中 1回戦敗退
	佐々木 1回戦敗退

講評

3年生がこれまで丁寧に練習を積み重ねてきた土台に、1・2年生が乗っかり勢いのある試合を見せた。人数も多く上級生主体の相手に一步も引かない好ゲームをみせ、あと少しのところまで追い込んだ。チームとしてのまとまりなど、結果以上に得られるものが多い大会であった。（顧問より）

バレーボール部 女子

結果 予選リーグ戦1回戦

石部高	石山高
2	0
$\left[\begin{array}{cc} 25 & - & 14 \\ 25 & - & 15 \end{array} \right]$	

2回戦

石部高	河瀬高
1	2
$\left[\begin{array}{cc} 23 & - & 25 \\ 25 & - & 22 \\ 16 & - & 25 \end{array} \right]$	

講評

様々なパターンを想定して準備をしてきたが、敗戦した。

個人の100%を出すことがどれほど難しいか、相手と勝負をすることがどれほど難しいことか、考えさせられる試合内容だった。この悔しさをぜひ次に繋げてもらいたい。(顧問より)

硬式野球部

令和7年度春季近畿地区高校野球滋賀県大会

結果 石部・栗東・信楽 VS 光泉カトリック 0-8(7回)

講評

走攻守ともに基本的なミスが多く失点を重ね、7回コールド負けとなった。夏の大会に向けては、石部・信楽の連合になることから、早急にバッテリーの整備が課題となる。(顧問より)

テニス部

結果

男子シングルス予選

出口 6-1 栗東 1回戦勝利
0-6 近江 2回戦敗退
田中 3-6 栗東 1回戦敗退
宮嶋 6-4 甲南 1回戦勝利
1-6 立命館守山 2回戦敗退
岡本 0-2玉川 1回戦棄権

男子ダブルス予選

出口・田中 6-3 甲南 1回戦勝利
6-2 東大津 2回戦勝利
2-6 膳所 3回戦敗退(予選決勝)

講評

3年生にとっては最後の集大成となる大会であった。いずれの試合も非常に内容の濃い試合であった。1日目のシングルスでは出口、田中とも決勝には行けず、残念な結果になったものの、2日目のダブルスではその悔しさをもとに決勝まで勝ち進めることができた。3年生の課題であったサーブの精度、コースに打ち分けるショットを難なく発揮することができた。本戦には、あと少しだったが、3年間練習してきたことが身を結んだ大会であったと感じた。(顧問より)

結果

女子シングルス予選

福井 1回戦 W.O.(近江兄弟社) 勝利
2回戦 6-3 (大津) 勝利
3回戦 6-3 (東大津) 勝利(本戦出場決定)
大宮 1回戦 3-6 (守山北) 敗退
立川 1回戦 0-6 (光泉カトリック) 敗退
岸野 1回戦 1-6 (守山) 敗退

女子シングルス本選

福井 1回戦 3-6 近江兄弟社 敗退

女子ダブルス予選

福井・大宮 1回戦6-2(米原) 勝利
2回戦2-6(国際情報) 敗退
立川・岸野 1回戦1-6(栗東) 敗退

団体

1回戦敗退 石部 0-3 守山
ダブルス 大宮・岸野 0-6 守山
シングルス1 福井 1-6 守山
シングルス2 立川 0-6 守山

講評

3年生はダブルスでは惜しくも2回戦敗退となったが、ランキング上位の選手に対しても粘り強くラリーを続ける思いのこもった試合内容であった。最後まで話し合いをしながら、試合を楽しむ姿が印象的であった。シングルスでは大宮は課題としていたサーブを武器に、得点を重ね、諦めることなく戦い抜けた。福井は予選ではコースを積極的に狙う強気の姿勢を崩さず、終始落ち着いて試合を優位に進め、予選ブロック優勝を果たし本戦へ進む。本戦ではスピードのあるサーブに苦戦するものの、ラリーでは粘り強さを発揮し、最後まで諦めることなく足を動かし得点を重ねた。惜しくも本戦1回戦敗退となったが、大変レベルの高い試合内容であった。2年生はダブルスでは緊張から動きが硬い印象を受けたが、シングルスでは試合に集中して長いラリーから得点を取ることができていた。団体戦では、ダブルスは3年生と2年生のペアで出場し、大宮が先輩としてプレーとかけ声で後輩を引っばる姿が印象的であった。シングルス1は以前対戦したことがある相手であったが、最初のゲームをしっかりと取り良い流れで入ることができた。苦手意識を持たずに強気で試合に臨んでいた。シングルス2ではすでに団体戦の敗退がわかった状態での試合であったが、最後までボールを追いかけて、速いスピードのボールにも対応できていた。先輩との最後の試合を少しでも長く続けたいという思いが伝わった。男子部員の熱い応援もあり、最後の大会をチーム全員で戦い抜いた。(顧問より)

文 化 部

吹奏楽部

第63回滋賀県吹奏楽祭

結果

賞のない大会であるが、11月に鳥取県で行われる近畿高等学校総合文化祭に出場する県代表の選考にエントリーした。大津・石山・彦根翔西館・八幡商業・光泉カトリック・幸福の科学関西・本校の7校がエントリーし、選考の結果、石山高校が県代表となり、本校は落選した。

講評

滋賀県吹奏楽連盟会長・北川先生より講評をいただいた。

「非常によく練習を積まれた丁寧な演奏でした。ただ、決め所の管楽器の音量が打楽器のロールに負けてしまい、説得力に欠けるところが課題。各ソロも良く吹けていますが、より堂々とした演奏ができると良いですね」

別途、フルートのソロを褒めていただいた。(顧問より)

放送部

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト滋賀県大会

<アナウンス部門>

結果 予選突破・決勝敗退

講評 緊張すると早口になるとのことだったが、本番では落ち着いて話せ、制限時間内に終えることができた。また、審査員からは「きれいな声」との評価を得た。

<朗読部門>

結果 予選敗退

講評 落ち着いてできていたが、読み間違いが見られ更なる練習の必要性を感じた。(顧問より)